

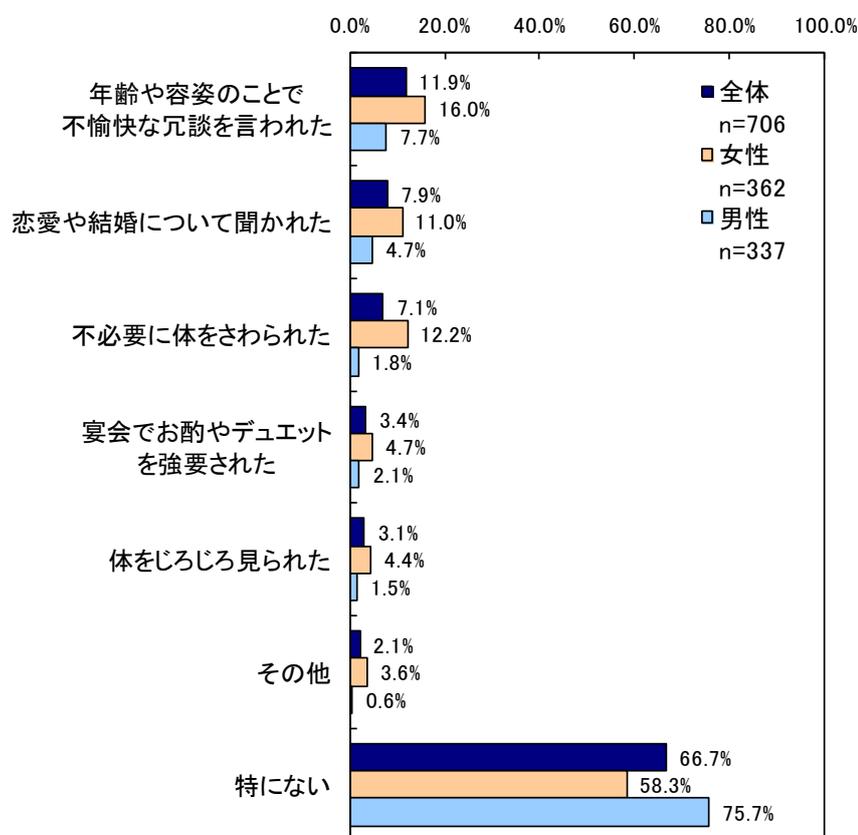
第5章 人権の尊重について

1 性的いやがらせの経験

問 17 あなたは、セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)だと感じることを経験されたことがありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

性的いやがらせの経験をみると、「特にない」の66.7%が最も高く、これに「年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた」の11.9%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「恋愛や結婚について聞かれた」(7.9%)、「不必要に体をさわられた」(7.1%)の順となっている。



<前回との比較>

平成23年調査と比較して5ポイント以上の増減した項目をみると、「特にない」(平成28年66.7%、5.3ポイント増)のみとなっている。「特にない」が増加した分、「恋愛や結婚について聞かれた」と「その他」を除く項目が減少している。

	平成23年 n=787 %	平成28年 n=706 %
恋愛や結婚について聞かれた	7.8	7.9
年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた	15.8	11.9
不必要に体をさわられた	10.8	7.1
宴会でお酌やデュエットを強要された	5.8	3.4
体をじろじろ見られた	3.9	3.1
その他	0.9	2.1
特にない	61.4	66.7

※平成28年調査の選択肢「恋愛や結婚について聞かれた」は、平成23年調査では「異性との交際関係や結婚について聞かれた」となっている。

<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「特にない」は「男性」の75.7%に対し、「女性」は58.3%となっており、その分、「年齢や容姿のことで不愉快な冗談を言われた」、「不必要に体をさわられた」などすべての項目で「男性」の割合を上回っている。

性・年代別にみると、「女性」の特に『20～50歳代』で性的いやがらせを受けた経験をしている人の割合が高くなっている。

		い 恋 愛 聞 か 結 婚 た に つ	談 と を 言 わ れ た 冗 談	年 齢 や 容 姿 の こ と で 不 愉 快 な 冗 談	わ ら な い に 体 を さ わ ら れ た	要 デ 宴 さ ユ 会 エ で ッ お ト 酌 を 強	ら 体 を さ わ ら れ た じ ろ じ ろ 見	そ の 他	特 に な い
全体	706	56 7.9%	84 11.9%	50 7.1%	24 3.4%	22 3.1%	15 2.1%	471 66.7%	
女性	小計	362	40 11.0%	58 16.0%	44 12.2%	17 4.7%	16 4.4%	13 3.6%	211 58.3%
	20歳代	41	9 22.0%	9 22.0%	4 9.8%	3 7.3%	2 4.9%	4 9.8%	20 48.8%
	30歳代	28	6 21.4%	7 25.0%	8 28.6%	1 3.6%	3 10.7%	1 3.6%	12 42.9%
	40歳代	49	10 20.4%	9 18.4%	10 20.4%	5 10.2%	3 6.1%	1 2.0%	27 55.1%
	50歳代	39	6 15.4%	10 25.6%	5 12.8%	2 5.1%	2 5.1%	3 7.7%	19 48.7%
	60歳代	75	4 5.3%	14 18.7%	6 8.0%	5 6.7%	1 1.3%	4 5.3%	46 61.3%
	70歳代	54	2 3.7%	5 9.3%	9 16.7%	0 0.0%	2 3.7%	0 0.0%	36 66.7%
	75歳以上	72	2 2.8%	4 5.6%	2 2.8%	1 1.4%	3 4.2%	0 0.0%	50 69.4%
	無回答	4	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
	男性	小計	337	16 4.7%	26 7.7%	6 1.8%	7 2.1%	5 1.5%	2 0.6%
20歳代		10	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 70.0%
30歳代		40	7 17.5%	6 15.0%	2 5.0%	1 2.5%	2 5.0%	0 0.0%	28 70.0%
40歳代		61	3 4.9%	6 9.8%	3 4.9%	2 3.3%	1 1.6%	2 3.3%	47 77.0%
50歳代		42	3 7.1%	5 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	31 73.8%
60歳代		97	1 1.0%	4 4.1%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	81 83.5%
70歳代		45	1 2.2%	3 6.7%	1 2.2%	2 4.4%	1 2.2%	0 0.0%	30 66.7%
75歳以上		39	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	29 74.4%
無回答		3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%

2 ドメスティック・バイオレンスの経験

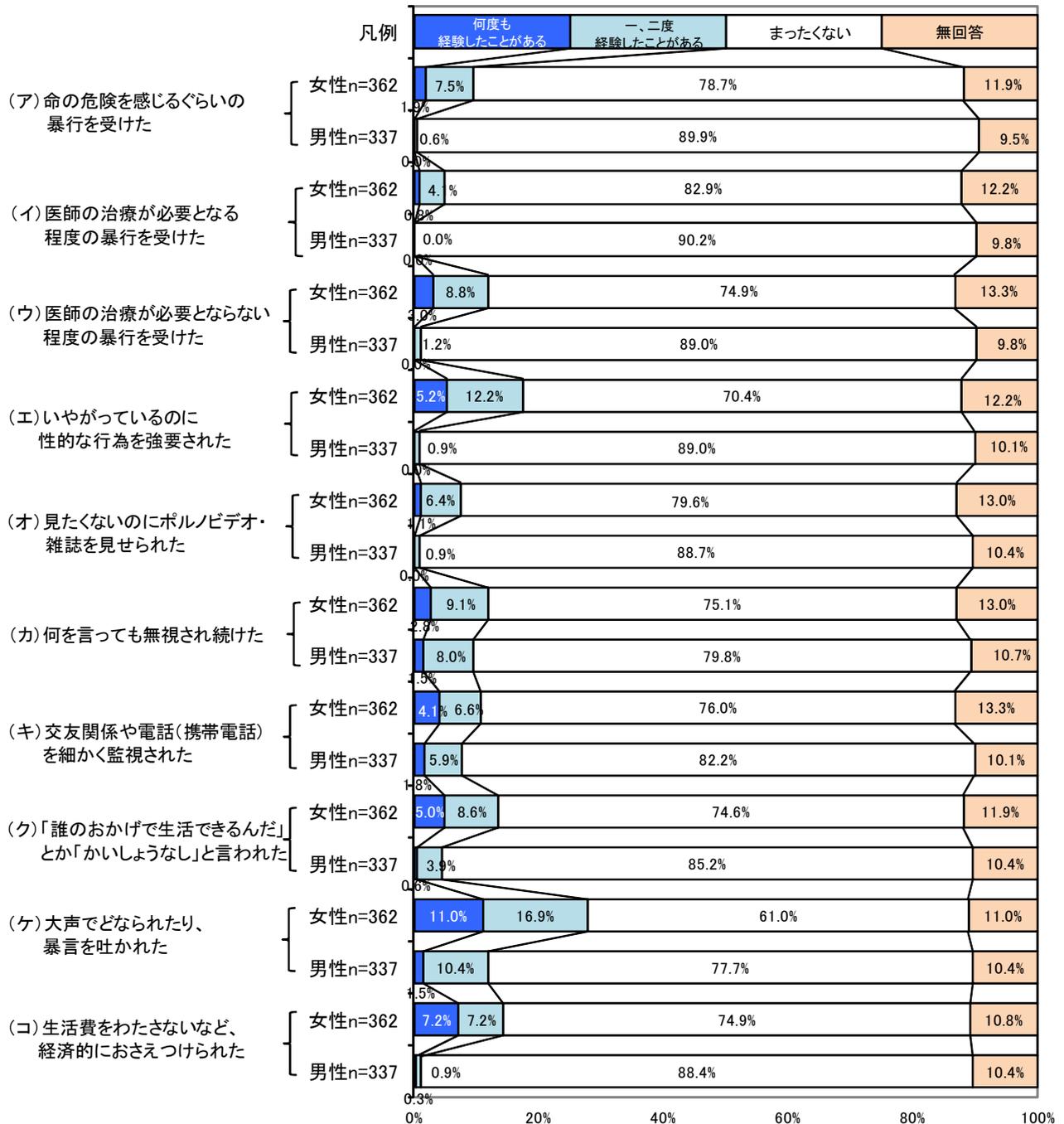
問 18 あなたは今までに、配偶者や恋人※から、次のような行為をされた経験がありますか。(ア)から(コ)の項目ごとに、あてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

配偶者や恋人がいない方は、(ア)の欄の4に○をつけてください。

※婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者や元恋人も含まれます。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスの経験をみると、「何度も経験したことがある」と「一、二度経験したことがある」を合わせた経験者の割合は、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の20.3%が最も高くなっている。以下、経験者の割合の高い方から、「何を言っても無視され続けた」(10.7%)、「いやがっているのに性的な行為を強要された」(9.6%)、「交友関係や電話(携帯電話)を細かく監視された」(9.2%)、「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われた(同)の順となっている。(ア)～(エ)の暴行の経験者の割合は、2.5～9.6%となっている。



<前回との比較>

平成 23 年調査と比較して 5 ポイント以上の増減した項目はない。わずかなポイントだが「経験したことがある」が増加したのは、「命の危険を感じるぐらいの暴行を受けた」（平成 28 年 5.1%、2.0 ポイント増）、「医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた」（平成 28 年 2.5%、0.2 ポイント増）、「生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた」（平成 28 年 8.0%、2.6 ポイント増）となっている。

	調査実施年	n	経験したことがある	まったくない	配偶者や恋人はいない	無回答
(ア) 命の危険を感じるぐらいの暴行を受けた	H28年全体	706	5.1	84.3	-	10.6
	H23年全体	787	3.1	79.7	8.4	8.9
(イ) 医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	H28年全体	706	2.5	86.5	-	10.9
	H23年全体	787	2.3	80.6	-	17.2
(ウ) 医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた	H28年全体	706	6.8	81.7	-	11.5
	H23年全体	787	7.5	75.5	-	17.0
(エ) いやがっているのに性的な行為を強要された	H28年全体	706	9.6	79.3	-	11.0
	H23年全体	787	11.2	71.7	-	17.2
(オ) 見たくないのにポルノビデオ・雑誌を見せられた	H28年全体	706	4.3	84.1	-	11.6
	H23年全体	787	3.8	79.0	-	17.2
(カ) 何を言っても無視され続けた	H28年全体	706	10.7	77.5	-	11.8
	H23年全体	787	13.7	69.3	-	17.0
(キ) 交友関係や電話(携帯電話)を細かく監視された	H28年全体	706	9.2	79.2	-	11.6
	H23年全体	787	10.0	72.6	-	17.4
(ク) 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われた	H28年全体	706	9.2	79.7	-	11.0
	H23年全体	787	11.5	71.8	-	16.8
(ケ) 大声でどなられたり、暴言を吐かれた	H28年全体	706	20.3	69.1	-	10.6
	H23年全体	787	25.2	58.4	-	16.4
(コ) 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた	H28年全体	706	8.0	81.4	-	10.5
	H23年全体	787	5.4	77.6	-	16.9

<性別にみた結果>

性別にみると、(ア)から(コ)のすべての項目で「女性」の経験者の割合が高くなっている。「女性」の経験者の割合が最も高いのは「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の 27.9%で、これに「いやがっているのに性的な行為を強要された」の 17.4%が続いている。「男性」の経験者がほとんどいないのは、「命の危険を感じるぐらいの暴行を受けた」、「医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた」、「医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた」、「いやがっているのに性的な行為を強要された」、「見たくないのにポルノビデオ・雑誌を見せられた」の 5 項目。「女性」よりも低いものの「男性」の経験者の割合がある程度認められるのが「何を言っても無視され続けた」と「交友関係や電話(携帯電話)を細かく監視された」、「『誰のおかげで生活できるんだ』とか『かいしょうなし』と言われた」、「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」の 4 項目となっている。

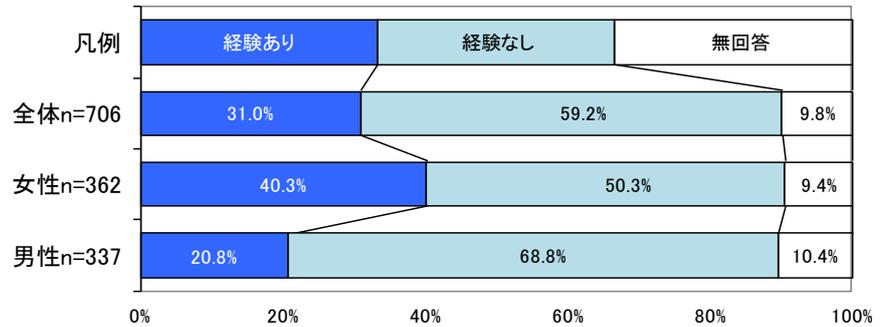
3 ドメスティック・バイオレンスについての相談の有無

問 18 で「経験したことがある」とお答えの方にお聞きします

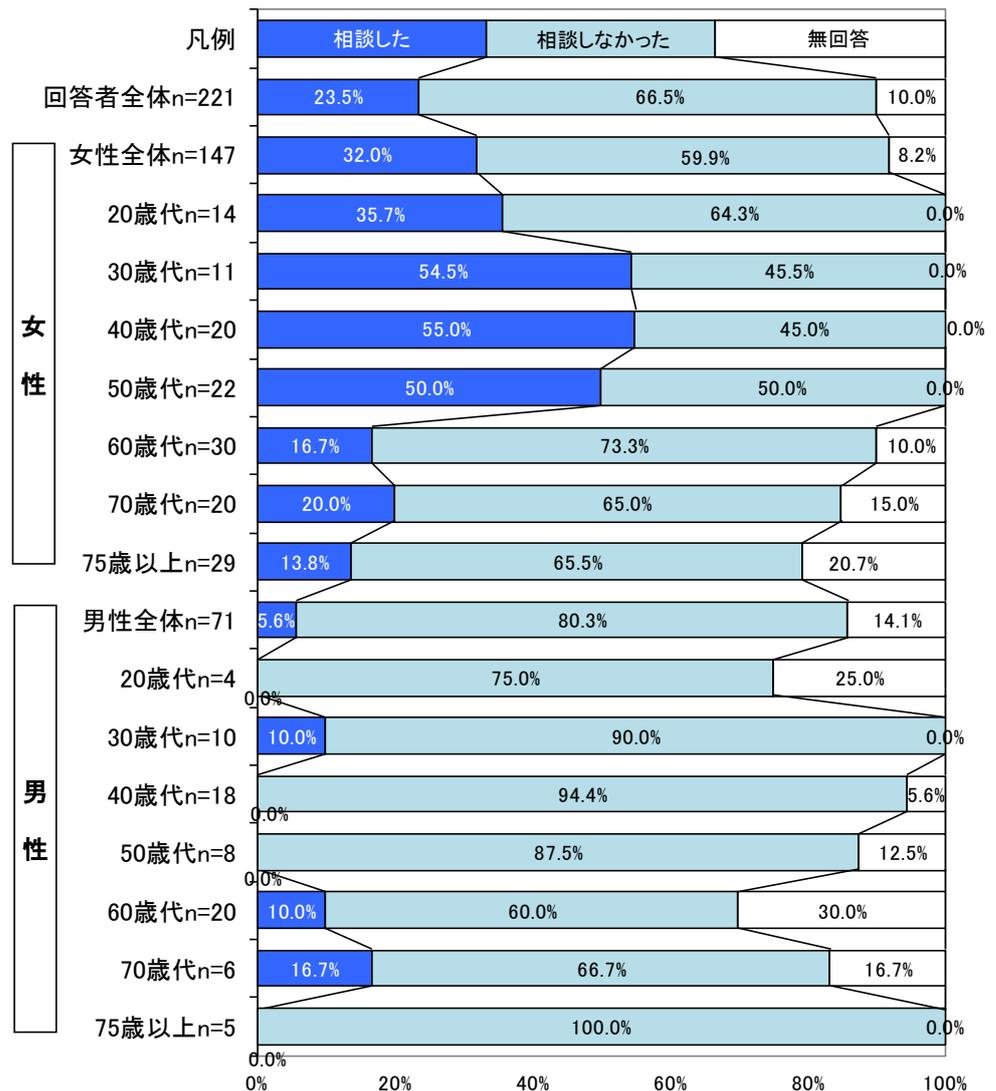
問 18-A その時誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスの被害経験のある人は、女性が 40.3%、男性が 20.8%で、女性が圧倒的に多い。



ドメスティック・バイオレンスを経験した人に聞いた相談の有無をみると、「相談した」は 23.5%で、「相談しなかった」は 66.5%となっている。



<性別及び性・年代別にみた結果>

性別にみると、「相談した」は「男性」の5.6%に対し、「女性」は32.0%となっている。
性・年代別にみると、「女性」の特に『30～50歳代』で「相談した」は50%台となっている。

<結婚の有無別にみた結果>

結婚の有無別にみると、「相談した」割合が高いのは「女性」で、「離婚」している人の40.7%を占める。
これに「女性」で「結婚していない」人の32.0%が続いている。

■性別及び性・年代別にみた相談の有無

		合計	相談した	相談しなかった	無回答
全体		221	52	147	22
		100.0%	23.5%	66.5%	10.0%
女性	小計	147	47	88	12
		100.0%	32.0%	59.9%	8.2%
	20歳代	14	5	9	0
		100.0%	35.7%	64.3%	0.0%
	30歳代	11	6	5	0
		100.0%	54.5%	45.5%	0.0%
	40歳代	20	11	9	0
		100.0%	55.0%	45.0%	0.0%
	50歳代	22	11	11	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	60歳代	30	5	22	3
		100.0%	16.7%	73.3%	10.0%
男性	小計	71	4	57	10
		100.0%	5.6%	80.3%	14.1%
	20歳代	4	0	3	1
		100.0%	0.0%	75.0%	25.0%
	30歳代	10	1	9	0
		100.0%	10.0%	90.0%	0.0%
	40歳代	18	0	17	1
		100.0%	0.0%	94.4%	5.6%
	50歳代	8	0	7	1
		100.0%	0.0%	87.5%	12.5%
	60歳代	20	2	12	6
		100.0%	10.0%	60.0%	30.0%
70歳代	6	1	4	1	
	100.0%	16.7%	66.7%	16.7%	
75歳以上	5	0	5	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

■結婚の有無別にみた相談の有無

		合計	相談した	相談しなかった	無回答
全体		221	52	147	22
		100.0%	23.5%	66.5%	10.0%
女性	小計	147	47	88	12
		100.0%	32.0%	59.9%	8.2%
	結婚していない	25	8	15	2
		100.0%	32.0%	60.0%	8.0%
	既婚(共働きである)	4	2	2	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	既婚(共働きでない)	13	3	9	1
		100.0%	23.1%	69.2%	7.7%
	死別	50	12	31	7
		100.0%	24.0%	62.0%	14.0%
	離婚	54	22	30	2
		100.0%	40.7%	55.6%	3.7%
その他	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
男性	小計	71	4	57	10
		100.0%	5.6%	80.3%	14.1%
	結婚していない	4	0	4	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	既婚(共働きである)	31	3	24	4
		100.0%	9.7%	77.4%	12.9%
	既婚(共働きでない)	29	0	23	6
		100.0%	0.0%	79.3%	20.7%
	死別	1	0	1	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
離婚	5	1	4	0	
	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%	
その他	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4 ドメスティック・バイオレンスについての相談先

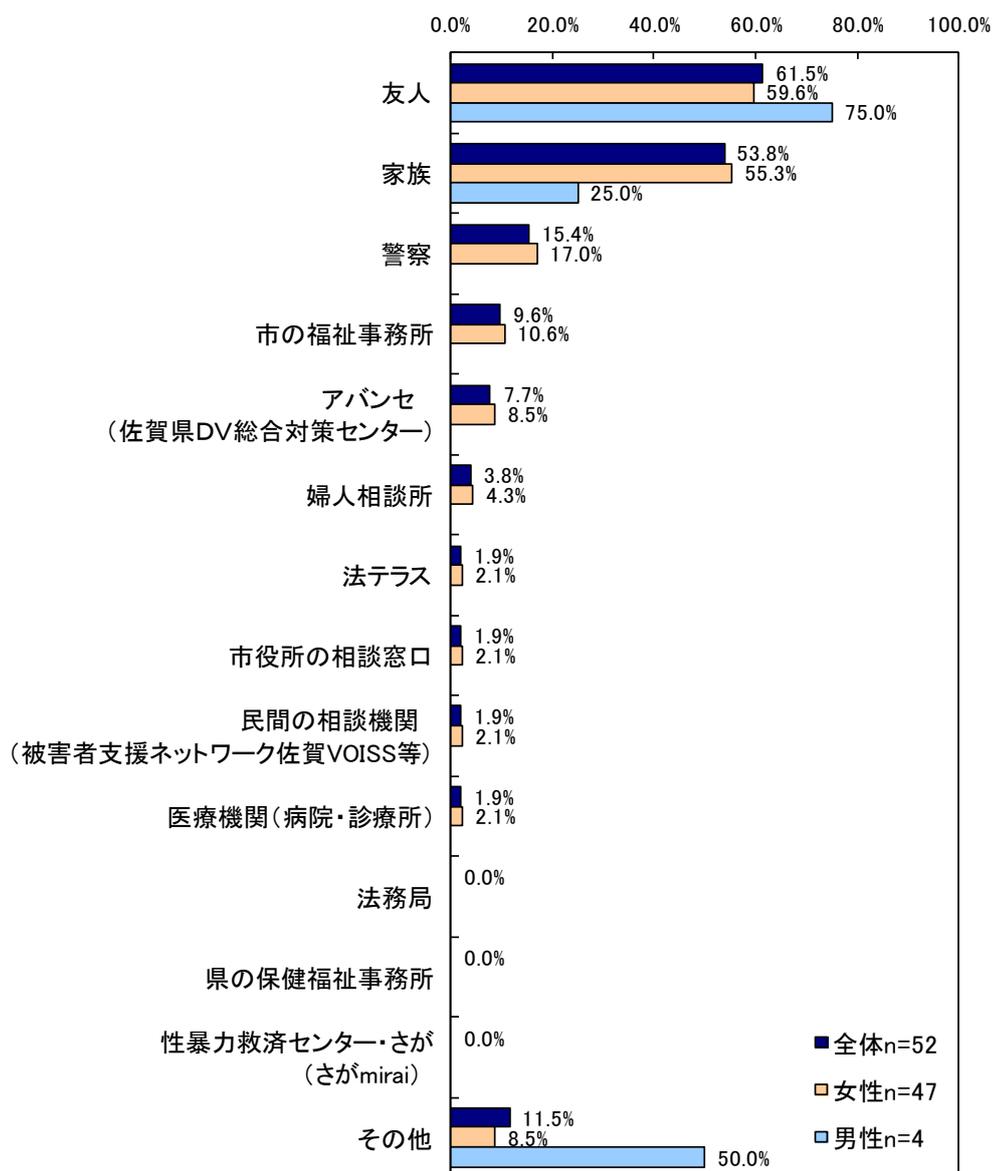
問 18-Aで「1. 相談した」とお答えの方にお聞きします。

問 18-B そのときの相談先はどちらでしたか。

次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスについての相談先をみると、「友人」の61.5%が最も多く、これに「家族」の53.8%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「警察」(15.4%)、「その他」(11.5%)、「市の福祉事務所」(9.6%)、「アバンセ(佐賀県DV総合対策センター)」(7.7%)の順となっている。



<性別にみた結果>

性別にみると、「相談した」と回答した「男性」は4人で、このうち3人が「友人」、1人が「家族」に相談したとしている。「女性」で「相談した」と回答したのは47人で、「家族」や「友人」に相談したのが50%台となっているが、このうち8人が「警察」、5人が「市の福祉事務所」、4人が「アバンセ」に相談したとしている。

	合計	アバンセ （佐賀県DV総合対策セ ンター）	婦人相談所	法テラス	警察	法務局	県の保健福祉事務所	市の福祉事務所	市役所の相談窓口	民間の相談機関（被害者支援ネット ワーク佐賀VOIS等）	性暴力救済センター・さが （さがmirai）	医療機関（病院・診療所）	家族	友人	その他	
全体	52	4 7.7%	2 3.8%	1 1.9%	8 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	28 53.8%	32 61.5%	6 11.5%	
女性	小計	47	4 8.5%	2 4.3%	1 2.1%	8 17.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 10.6%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	26 55.3%	28 59.6%	4 8.5%
	20歳代	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	5 100.0%	0 0.0%
	30歳代	6	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	4 66.7%	1 16.7%
	40歳代	11	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 72.7%	8 72.7%	1 9.1%
	50歳代	11	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	8 72.7%	1 9.1%
	60歳代	5	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	2 40.0%	0 0.0%
	70歳代	4	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
	75歳以上	4	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	男性	小計	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%
20歳代		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代		1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
40歳代		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50歳代		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
60歳代		2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
70歳代		1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
75歳以上		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

<結婚の有無別にみた結果>

結婚の有無別にみると、「女性」で「相談した」と回答した47人のうち22人(46.8%)が「離婚」、12人(25.5%)が「死別」、8人(17.0%)が「結婚していない」となっており、既婚者は5人(10.6%)となっている。

	合計	アバンセ ンター (佐賀県DV 総合対策セ ンター)	婦人 相談所	法 テラス	警 察	法 務局	県 の保 健福 祉事 務所	市 の福 祉事 務所	市 役所 の相 談窓 口	民 間 の相 談機 関(被 害者 支 援 ネ ッ トワ ーク 佐賀 VOI SS等)	性 暴 力 救 済 セ ン ター ・ さ が (s a g a m i r a i)	医 療 機 関 (病 院・ 診 療 所)	家 族	友 人	そ の 他
全体	52	4	2	1	8	0	0	5	1	1	0	1	28	32	6
		7.7%	3.8%	1.9%	15.4%	0.0%	0.0%	9.6%	1.9%	1.9%	0.0%	1.9%	53.8%	61.5%	11.5%
小計	47	4	2	1	8	0	0	5	1	1	0	1	26	28	4
		8.5%	4.3%	2.1%	17.0%	0.0%	0.0%	10.6%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	55.3%	59.6%	8.5%
結婚していない	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	100.0%	12.5%
既婚(共働きである)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
既婚(共働きでない)	3	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0
		33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%
死別	12	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	1	9	5	1
		0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	75.0%	41.7%	8.3%
離婚	22	3	0	1	5	0	0	2	1	1	0	0	11	12	2
		13.6%	0.0%	4.5%	22.7%	0.0%	0.0%	9.1%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	50.0%	54.5%	9.1%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
小計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	50.0%
結婚していない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
既婚(共働きである)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%
既婚(共働きでない)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
死別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
離婚	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

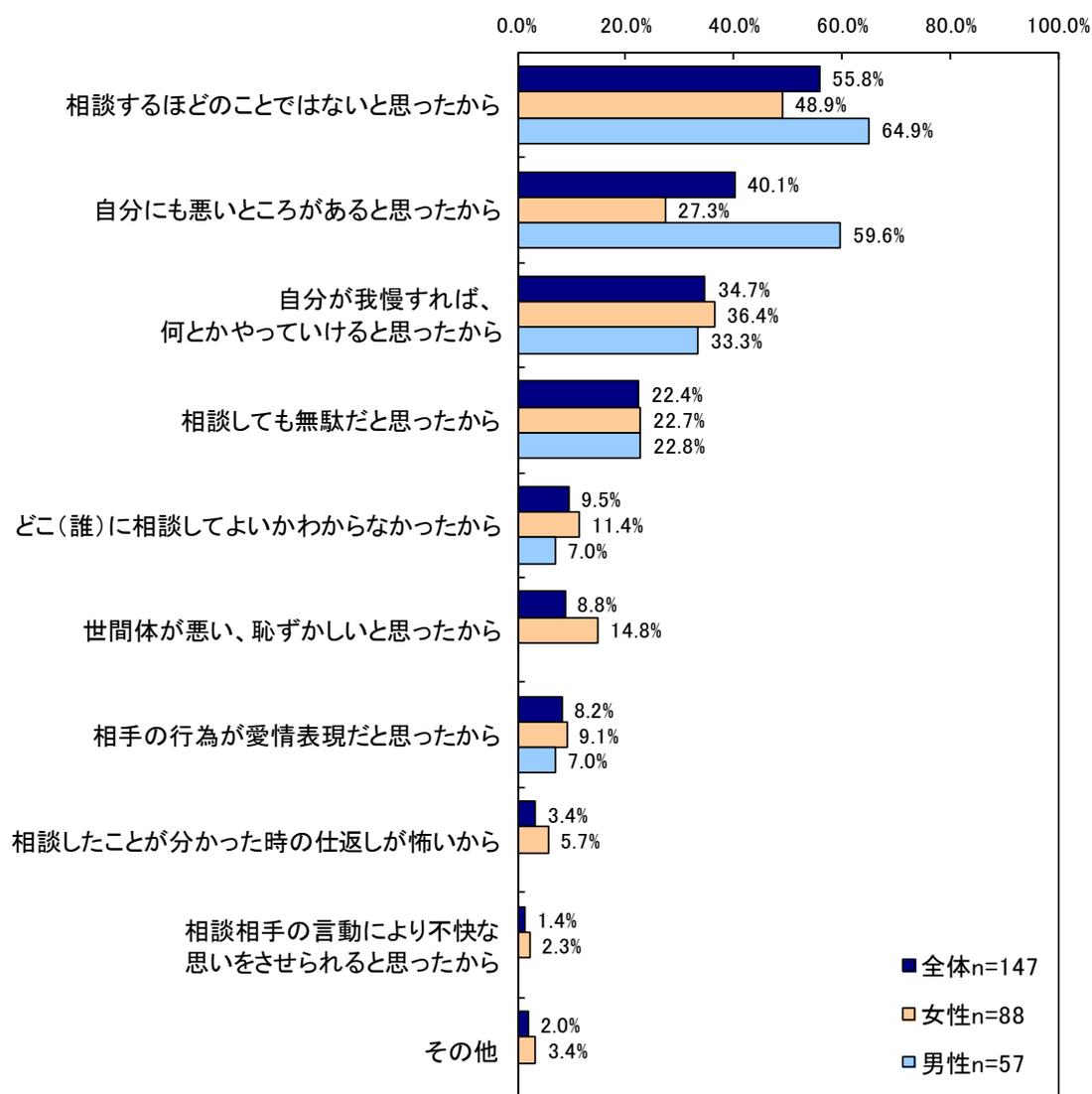
5 ドメスティック・バイオレンスについて相談しなかった理由

問 18-A で「2.相談しなかった」とお答えの方にお聞きします

問 18-C それはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

ドメスティック・バイオレンスについて相談しなかった理由をみると、「相談するほどのことではないと思ったから」の 55.8%が最も多く、これに「自分にも悪いところがあると思ったから」の 40.1%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「自分が我慢すれば、何とかやっていたらと思ったから」(34.7%)、「相談しても無駄だと思ったから」(22.4%)の順となっている。



<前回との比較>

平成23年調査と比較して5ポイント以上の増減した項目は、「相談するほどのことではないと思ったから」(平成28年55.8%、18.5ポイント増)、「相談しても無駄だと思ったから」(平成28年22.4%、11.8ポイント減)、「自分が我慢すれば、何とかやっていけると思ったから」(平成28年34.7%、5.2ポイント減)となっている。

	平成23年 n=158 %	平成28年 n=147 %
相談するほどのことではないと思ったから	37.3	55.8
自分にも悪いところがあったから	38.6	40.1
自分が我慢すれば、何とかやっていけると思ったから	39.9	34.7
相談しても無駄だと思ったから	34.2	22.4
世間体が悪い、恥ずかしいと思ったから	7.0	8.8
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	13.3	-
相手の行為が愛情表現だと思ったから	-	8.2
どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから	6.3	9.5
相談したことが分かった時の仕返しが怖いから	6.3	3.4
相談相手の言動により不快な思いをさせられると思ったから	0.6	1.4
他人を巻き込みたくなかったから	8.9	-
被害を受けたことを忘れたかったから	3.2	-
その他	2.0	2.0

※平成28年調査と23年調査の選択肢の違いは、以下のとおり。

- ・28年「自分が我慢すれば、何とかやっていけると思ったから」⇒23年「自分さえ我慢すれば何とかこのままでやっていけると思ったから」
- ・28年「世間体が悪い、恥ずかしいと思ったから」⇒23年「世間体が悪いから」
- ・28年「相談したことが分かった時の仕返しが怖いから」⇒23年「相談したことが分かると、仕返しされたり暴力がひどくなったりすると思ったから」

<性別にみた結果>

性別にみると、「男性」は「女性」より「相談するほどのことではないと思ったから」と「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が高くなっている。「男性」の選択が皆無で「女性」だけが選択した理由は、「世間体が悪い、恥ずかしいと思ったから」(8.8%)、「相談したことが分かった時の仕返しが怖いから」(3.4%)、「相談相手の言動により不快な思いをさせられると思ったから」(1.4%)となっている。

6 女性への暴力をなくす方法

問 19 あなたは、性犯罪、売買春、ドメスティック・バイオレンス(配偶者や恋人からの暴力)、セクシュアル・ハラスメント等による被害をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<全体の結果>

性犯罪、売買春、ドメスティック・バイオレンス(配偶者や恋人からの暴力)、セクシュアル・ハラスメント等による被害をなくす方法をみると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」の67.1%が最も多く、これに「暴力を防止するための教育を、学校で児童・生徒・学生に対しておこなう」の42.9%が続いている。以下、回答割合の高い方から、「加害者への罰則を強化する」(42.1%)、「警察による介入・指導を強化する」(41.9%)の順となっている。

広報・啓発などの方法よりも、身近な相談窓口の設置や罰則強化、警察の介入などの厳しい方法を求める回答が多くなっている。

